

開講科目名 / Course	母性看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	林 猪都子	
担当教員名 / Instructor	梅野 貴恵、林 猪都子、永松 いずみ	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	母性の概念や対象の特性、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、およびライフステージにおける女性の健康と健康問題を通して、母性看護の役割と機能について学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性看護の概念を述べることができる。 2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意義を述べることができる。 3. 母性看護の対象とその特性を述べることができる。 4. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を述べることができる。 5. ライフステージにおける女性の健康と健康問題を述べることができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、 2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、 3. 心豊かな人間性と倫理観、 4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、 5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 母性看護とは 02. セクシュアリティ、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 03. 母性看護の対象の理解・必要な看護技術 04. 母性看護の対象理解（生殖器の形態・機能、ホルモン動態） 05. 母性看護の変遷、母子看護に関連する施策 06. 母子保健統計の動向、母子看護に関する法律 07. リプロダクティブヘルスケア 08. 思春期の健康と看護 09. 成熟期の健康と看護・家族計画と受胎調節 10. 更年期・老年期の健康と看護 	
その他の授業の工夫	リプロダクティブヘルスケアは、グループで意見交換することで学習内容を深める。	
時間外学修	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1]のテキストに目を通して講義に臨む。リプロダクティブヘルスケアの各課題をグループで学習し発表にむけて準備する。	
評価方法と評価割合	原則として4回以上の欠席は評価の対象としない。グループワーク課題（10%）、筆記試験（90%）から総合的に評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1]（医学書院） 病気がみえる vol10 産科（メディックメディア） 講義の中で適宜資料を配布する。	
参考書	わが国の母子保健 令和2年（母子保健事業団）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	林猪都子：病院の助産師 梅野貴恵：病院の助産師 永松いずみ：病院の助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた看護と臨床経験をいかした看護を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。	